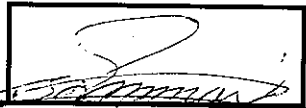


デイリーレポート

船長署名



船 名	大 島 丸	情報発信日時	2024 年 11 月 8 日 12 時 00 分		
現 在 位 置	航海中	12 時 00 分	概位 紀伊水道		
		<Lat. 34 - 00.2	N/S	Long. 134 - 59.3	E/W >
	停泊中	時 分	概位		
		<Lat. -	N/S	Long. -	E/W >
	錨泊中	時 分	概位		
	<Lat. -	N/S	Long. -	E/W >	
	操業中	時 分	概位		
		<Lat. -	N/S	Long. -	E/W >
	観測中	時 分	概位		
		<Lat. -	N/S	Long. -	E/W >
本船状況 気象海象	針路:	000 度	船速:	12.5 kt	天候: bc
	風向:	North	風速:	9.0 m/s	視界: 7 浬
	波高:	0.4 m	風浪階級:	4	うねり階級: 1
乗船者 状況	乗組員	現在員:	19 名	健康状態:	良好 不良
		摘要:			
	生徒	現在員:	10 名	健康状態:	良好 不良
		摘要:			
指導教官	現在員:	3 名	健康状態:	良好 不良	
	摘要:				
支援員	現在員:	1 名	健康状態:	良好 不良	
	摘要:				
○本船動静 Nil					
○避航・避難理由 Nil					

【学校側コメント】

昨日から本格的な実習が始まりました。当直する海域により、比較的平穏な海況の中で実習が出来た班、或いは浜名湖沖から伊勢湾の伊良湖水道沖を通過する際は、折からの北西風の強風を受け大きく動揺する中で船酔いに苦しみながら実習を行った班、24時間の航海当直実習中には様々な状況が生まれます。船酔いすれば思考回路は鈍ります。普段は出来ていたことが出来なくなる。しかし、ここで彼らへの評価が全て決まる訳ではありません。

東京～神戸間が航海当直の基礎を学ぶ航海とするならば、神戸から先の航海は応用編であり、航海法規の実践的知識習得の場となります。更には、何故、瀬戸内海では潮の流れが強いのか？何故、瀬戸内海中央部では干満の差が大きくなるのか？瀬戸内海だからこそ、航海法規だけでなく船舶運航系実習生として学ばなければならない事は沢山あります。

本日夕刻には神戸港外着となります。港外では明朝まで錨泊します。船は全く揺れなくなります。船酔いで疲れた心身をほぐして明日からの実習に備えて欲しいと思っています